

唐津は茶所と云われる位、茶の湯の盛んな所で、その茶の湯も、殆んど宗徧流許りで、表、裏千家流等は、無いと云つても、過言ではありません。彼の茶と云うのが、宗徧流の特徴で、身分に応じて茶をやるのが、ほんとうのお茶だと云います。

宗徧流の始祖、山田宗徧は小笠原康公に茶道指南として仕えていたので、そんな関係から、唐津は宗徧流一色になつたものと思われれます。近松寺に於ける四月（普通五月に行う）の宗徧忌や、十月の甕山忌には、茶人五百人位が集まつて盛会を極めます。

唐津と釣

唐津は海と川に恵まれてるので四季を通じて釣が出来ます。

松浦川 佐志川、有浦川 ハセ、鯉、フナ、シジミ貝

玉島川 鮎、白魚

高島周辺 キス、ボラ、スズキ

大島周辺、神集島、七ツ釜方面 ホリ、ボラ、アラカス、鰯、子又、メバル

釣舟の用意もあり、公園下から出ます。

地曳き網：東の浜、西の浜、何れでも出来ます。一回 二千円で曳いて呉れます。唐津観光協会でお古詩致します。

唐津と石炭

唐津線の沿線は唐津炭田として有名で、筑豊炭田が既に老齢期に入つて居るのに、唐津炭田は、未だ若いと云われ、佐賀県の石炭埋蔵量は、推定拾億万吨といわれ、現在年二百万吨位掘

り出していますから、五百年位掘れるわけです。

二百万吨の石炭中約半分の百万吨が、西唐津港から積出されております。

唐津と海産物

鰯、あじ、鯖、ぶり、かつを、いか、鰯等が豊富に獲れ、年間の水揚量は一千二百万貫十四億円位あり、九州一円は勿論、関西方面迄積出されています。殊に近海の「いりこ」（煮干し）は「唐津いりこ」として東京方面では味が良く出るので非常に珍重され、北海道方面まで出荷されています。

玄海の「うに」も味が特にいゝので有名です。

輸出品

石炭は勿論、韓国、香港、その他 南方へも輸出されますが、「百合の根」「にんにく」も大きな輸出品です。「百合根」は名護屋、湊方面が主産地で、年産八〇万球一〇〇万球位取れ、殆んど大部分アメリカに輸出されています。アメリカでは、クリスマス用に花を咲かせるのだそうです。「にんにく」は入野、打上、湊、名護屋方面の産物で、二十九年度は八万貫生産し、その内五万貫が、アメリカに輸出されています。ソース原料や、料理の調味料として使用されるのです。この外、ヒ山、北山方面の竹が沢山、韓国に輸出されております。これは漁網用の浮きや、海苔をつける竹として使用されています。

其の他

▲唐津紙は有浦、北波琴、玉島方面で出来、楮を原料とした手漉の紙で、引きが良く東京方面では非常に喜ばれます。